

I 法人本部

1. 基本方針及び基本理念

1997年法人設立当初より掲げてきた、自然との共生を目指し、ものづくりひとすじの思いを土台とした法人運営を行ってきた。

～ 基本理念 ～

- ・ 私たちは、自然との共生・地球環境の保全に寄与し、資源の循環を目指します
- ・ 私たちは、自然の中に生かされていることを自覚し、地域とともに、共生社会の発展に努めます
- ・ 私たちは、利用者さんの自己実現のために、一人ひとりにしっかり寄り添い、声なき声をくみ取ります
- ・ 私たちは、職員一人ひとりが法人の一員であることを自覚し、社会人として常に研鑽を積んでいきます

———— 平成28年2月25日制定 ————

2. 令和元年度 重点取り組み事項

(1) 共同生活援助施設「やしま」新築移転工事

<施設概要>

施設名称：共同生活援助施設 やしま

住 所：浜松市西区雄踏町山崎5526-2

構 造：鉄骨造2階建

敷地面積：686.82 m² 建築面積：221.43 m² 延床面積：309.12 m²

建築工事費：115,560千円

設計監理：(有)ZONE 建築設計事務所

建築工事：中村建設株式会社

<建設経過>

平成31年 3月 建設業者との工事契約締結

令和元年 10月 工事着工

令和2年 6月 引渡し予定

(2) 中期経営計画の策定 (2020年度～2024年度)

外部講師による中期経営計画策定に向けて、中期経営計画研修を実施した。

令和元年 7月24日 第1回 現状分析とベンチマーク

〃 9月 4日 第2回 収益のシミュレーション

〃 10月 2日 第3回 人件費のシミュレーション

〃 11月 20日 第4回 中期経営計画の作成

〃 12月 25日 第5回 中期経営計画の発表

社会福祉法人に求められている使命を果たすために、基本方針、基本理念を軸に、目指すべき将来像を明確にし、組織として取り組むべき方向を示す、中期経営計画を策定した。

3. 評議員会・理事会等

(1) 評議員会（1回）

開催月日	出席者数	審議事項
令和元年 6月 17 日日	評議員 8 名 理事 2 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書） 附属明細書並びに財産目録の承認の件 新役員選任の件 定款変更の件 基本財産処分承認申請書の件 定款変更認可申請書の件 ・報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告の件

(2) 理事会（6回）

開催月日	出席者数	審議事項
令和元年 5月 28 日 第 1 回	理事 5 名 監事 2 名	決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度事業報告 ・平成 30 年度計算書類、附属明細書及び財産目録承認 ・定時評議員会の招集について ・新役員候補者の選任について ・評議員選任・解任委員の選任について
令和元年 6月 11 日 第 2 回 決議の省略	理事 6 名 監事 2 名	社会福祉法第 45 条の 14 第 9 項が準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 96 条及び定款第 26 条に基づく理事会の決議の省略 決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・みなみの土地、建物を基本財産に繰入れ、定款の変更 ・旧みなみの建物処分、基本財産処分申請書の提出 ・旧みなみの建物の基本財産処分、定款の変更
令和元年 6月 17 日 第 3 回	理事 7 名 監事 2 名	決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・理事長選任について ・業務執行理事選任について
令和元年 12月 10 日 第 4 回	理事 7 名 監事 2 名	決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度第一次補正予算 ・基本財産処分について 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告
令和 2 年 3月 24 日 第 5 回	理事 7 名 監事 2 名	決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度第二次補正予算 ・目的外使用の積立金取り崩しについて ・令和 2 年度事業計画（案）、当初予算（案） ・共同生活援助事業所「やしま」利用料改正 ・共同生活援助事業所「やしま」運営規程改正 ・短期入所事業所「やしま」運営規程制定 ・共同生活援助事業所「やしま」人事について 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・中区間間の予算の流用について ・理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告

令和2年3月31日 第6回 決議の省略	理事7名 監事2名	社会福祉法第45条の14第9項が準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条及び定款第26条に基づく理事会の決議の省略 決議事項 ・令和元年度第三次補正予算
---------------------------	--------------	--------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 監事監査（業務執行状況、及び財産の状況を監査）

開催月日	種別	監査項目
令和元年5月16日	決算監査	・平成30年度事業報告書（障害福祉サービス事業） ・平成30年度計算書類及びその附属明細書並びに財産目録
令和元年11月12日	定期監査	・令和元年度中間(平成31年4月～令和元年9月)業務監査・会計監査

(4) 月次監査指導（会計事務所による会計データ監査、経営助言等）

開催月日	内 容
毎月1回	・会計データの監査、及び月次試算表作成指導

(5) 障害福祉サービス事業所等の実施指導

事業所	開催日時	指導項目
みなみ	令和元年11月25日	管理者の兼務状況が不適切なため、適切な人員配置に見直しをすること。
やしま	令和2年2月13日	入院支援特別加算の加算要件を満たさず算定し、請求していた。報酬返還すること。

4. 会議・研修等

(1) 内部会議

会 議	実施（曜）日	参加者
運営会議	月1回	理事長、園長、事務長
企画会議	第2土曜日	園長、事務長、主任
工賃評定会議	半年に1回・適宜	園長、サービス管理責任者、主任
職員会議	毎月1回 毎朝(15分)、毎夕(40分)	全 員
支援会議	半年に1回・適宜	全 員

(2) 内部研修

研 修 名	内 容
施設長・主任者研修	・中期経営計画策定研修、現状分析・収益・人件費のシミュレーション等、計画作成に向け、5回実施。
新任職員研修	・法人の基本方針や規程等の説明
自己啓発研修	・業務の振り返りチェックシートを使用して自己啓発につとめた。
内部研修会	・処遇困難事例から見える支援と対応について
年度末職員研修	・令和元年度事業計画・会計予算、授産事業のまとめ 研修報告と意見交換。
自主研修	・事業所毎に研修計画を立て、年間6回程実施。 支援への共通認識を深め、相談しやすい職場づくりも兼ねた。

(3) 外部会議

- ・管理部門研修 : 年間4回の研修に、監事・施設長、6人が出席
- ・キャリアアップ研修 : 年間42回の研修に、施設長・サビ管他、43人が参加

5. 施設運営

(1) 施設の概要 (令和2年3月31日現在)

名称	ひくまの		みなみ	まつかさ	やしま	あかね	
種類	生活介護	就労継続支援B型	就労継続支援B型	就労継続支援B型	共同生活援助	共同生活援助	短期入所
利用定員	15	40	20	20	4	7	1
在籍数	17	49	24	21	3	7	—

(2) 施設整備及び主な修繕 (100万円を超えるもの)

①施設整備

(単位:千円)

事業所名	内容	金額
やしま	・新築移転施設整備 (建築工事費、設計監理料)	121,770 千円

②主な修繕

(単位:千円)

なし

6. 職員構成

(令和2年3月31日現在)

施設等 職種	多機能型事業所 「ひくまの」		就労継続支援B型 「みなみ」	就労継続支援B型 「まつかさ」	共同生活援助 「やしま」	共同生活援助 ・短期入所 「あかね」	計
	就労B	生活介護					
管理者	1		1	1	1(兼)	1	4
嘱託医		1 (1)					1 (1)
サービス管理責任者	1	1	1	1(兼)	1(兼)	1(兼)	3
職業指導員	6 (4)		3 (3)	3			12 (7)
生活支援員	3 (2)	6 (1)	4 (3)	1 (1)	3(兼) (2兼)	3(兼) (2)	14 (7)
看護師		2 (1)					2 (1)
世話人					3 (3)	5 (5)	8 (8)
事務員	1 (1)						1 (1)
運転手	1 (1)		2 (2)				3 (3)
計	23 (11)		11 (8)	5 (1)	5 (5)	8 (7)	48 (28)

※ ()内の数字は準職員の人数で再掲。 ※ 産休・育休の職員は含まれていない。

7. 主な年間共通行事

実施日	行事名
令和元年6月10日	・家族会 総会
令和2年1月10日	・新成人を励ますつどい
令和2年3月23日	・令和2年度 入所式

Ⅱ ひくまの（多機能型事業所）

1. 施設運営

(1) 生活介護事業

日常生活に必要な食事、整容、排泄等の介護や働くこと、創作活動などの機会を日中活動の中で提供し、「スマイル」の通称のように利用者の喜びや自己実現を活動を通じて支援し、また、個別支援計画に沿い、きめ細やかな支援を提供した。

本館2階を主会場としてスマイル独自の独立した活動を意識して展開し、利用者の意思決定を大切にしながら日中活動を提供してきた。また生産活動では、スマイル独自の商品を積極的に開発し、販売等につなげてきた。

(2) 就労継続支援事業（B型）

働く場として就労の機会を提供し、利用者の働く喜びが保障され、働く力、人として生きていく力が備わるよう個別支援計画に沿い、きめ細やかな支援を提供した。

作業内容は、小規模多機能の形態を維持し、利用者の意思決定が毎日の生活や活動に充分反映されるような日中活動を展開した。

就労継続支援事業所として、新たに「働く」という視点を重要視し、工賃向上も視野に入れた支援体制を目指し、障害の特性に合わせた個別支援体制も充実させてきた。

2. 施設利用状況

(1) 生活介護（定員15名）

項 目		単位	令和元年度 実績	平成30年度 実績	平成29年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	258	256	254
	契約者数	人	17	17	17
	延べ人数	人	4,015	3,940	3,669
	1日平均		15.6	15.4	14.4
	利用率	%	103.7	102.6	96.3

・利用者の状況（平成31年3月31日現在）

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計		
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				性別	男	女
年 齢 別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女	17		
	0	6	7	3	1	0	0						
障害支援 区 分 別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定					
	1	8	8	0	0	0	4.6						
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし	
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級			3
	0	1	1	0	0	16	1	0	0	1			

(2) 【就労継続支援B型】 (定員40名)

項 目		単位	令和元年度 実績	平成30年度 実績	平成29年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	258	256	254
	契約者数	人	46	49	46
	延べ人数	人	11251	11091	10696
	1日平均	人	43.4	43.4	42.1
	利用率	%	108.6	108.3	105.3

・利用者の状況 (令和元年3月31日現在)

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				性別	男
年 齢 別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	平均年齢区分	未判定			
	1	17	14	5	5	4	0				27	19
障害支援 区 分 別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均年齢区分	13				
	0	1	9	18	5	0	3.2					
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	1	1	0	0	1	25	20	0	0	0		

3. 就労支援事業

(1) 生活介護(スマイル)：全体

(単位：円)

事 業	令和元年度収入	平成30年度収入	差 額
自主作業	21,700	29,620	△7,920
下請作業	230,653	141,282	89,371
合 計	252,353	170,902	81,451

①自主作業

(単位：円)

作業種目	令和元年度収入	平成30年度収入	差 額
果樹園芸	14,800	23,470	△8,670
染織縫製	6,900	6,150	750
合 計	21,700	29,620	△7,920

(2) 就労継続支援B型：全体

(単位：円)

事 業	令和元年度収入	平成30年度収入	差 額
自主作業	3,281,129	3,795,106	△ 513,977
下請作業	7,544,049	5,018,836	2,525,213
合 計	10,825,178	8,813,942	2,011,236

①自主作業

(単位：円)

作業種目	令和元年度収入	平成30年度収入	差 額
果 樹 園 芸	962,239	1,384,279	△ 420,040
染 織 縫 製	414,245	260,121	154,124
バ イ オ	0	0	0
食 品 加 工	1,904,645	2,150,706	△ 246,061
合 計	3,281,129	3,795,106	△ 513,977

※静岡県授産製品ブランド化事業にて、ブルーベリーコンフィチュールが内容、パッケージともに一新され、今後の販路拡大につながると考えられる。

②受託作業

(単位：円)

作業種目	令和元年度収入	平成30年度収入	差 額
施 設 外 就 労	4,671,662	2,445,812	2,225,850
優先調達関連作業	317,798	219,240	98,558
下 請 作 業	2,424,875	2,200,969	223,906
その他販売手数料	129,714	152,815	△ 23,101
合 計	7,544,049	5,018,836	2,525,213

4. 工賃実績：全体

(単位：円)

	生活介護			就労継続支援B型		
	令和元年度	平成30年度	差 額	令和元年度	平成30年度	差 額
平均	1,235	831	404	12,809	11,125	1,684
最高	1,707	1,269	438	27,295	21,487	5,808
最低	822	428	394	3,284	1,777	1,507

(1) 生活介護事業：月別

(単位：円)

工 賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	12,000	17,060	24,290	8,290	19,830	12,020	9,800	12,810	14,180	12,830	12,300	96,600	252,010	169,570
月額最高額	1,100	1,600	2,440	700	1,860	1,110	890	1,190	1,270	1,170	1,120	6,030	1707	1,269
月額最低額	430	430	330	320	660	330	340	410	490	320	430	5,370	822	428
	平均工賃月額												1,235	831

※令和2年3月賞与を含む。

(2) 就労継続支援B型事業：月別

(単位：円)

工 賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	499,740	444,720	499,730	474,800	599,810	599,720	599,760	599,740	829,800	649,720	649,710	973,740	7,420,990	6,371,182
月額最高額	21,400	18,750	22,230	22,270	26,410	22,330	28,340	28,520	32,680	32,290	31,640	40,680	27,295	21,487
月額最低額	4,449	3,960	4,570	3,830	5,330	1,600	1,000	1,000	1,650	1,000	3,510	3,070	3,284	1,777
	平均工賃月額												12,809	11,125

※令和元年12月、令和2年3月は賞与を含む。

※工賃支給対象者に、年度途中入所者、及び退所者、入院中の利用者も含む。

5. 生活支援

(1) クラブ活動

クラブ名	講師	参加人員	備考
卓球クラブ	木村由美子、小林利到子	7名	毎月1回実施
音楽クラブ	永吉 真弓	6名	毎月1回実施
アートクラブ	職員	9名+17名	毎月1回実施
ダンスクラブ	ヒロタツダンスシティ	8名	毎月1回実施
アクティブクラブ	職員	6名	毎月1回実施
パラスポーツクラブ	職員	8名	毎月1回実施

- ・利用者の希望を取り入れて、楽しく活動した。わかふじスポーツ大会へパラスポーツクラブ（令和元年8月）、卓球クラブ（令和元年9月）が参加。アートクラブはパラリンアートカップ（令和元年12月）、障害者アート展示会（令和2年2月）に出展。
- ・スマイルのアートクラブでは愛護ギャラリー展（令和元年12月）に『太陽と17の輝き（曼荼羅）』を出展し、奨励賞を受賞した。

(2) 茶話会

毎月1回（毎月第4金曜日）に、工賃分配及び誕生会、話し合い、レクリエーション等を行った。

利用者の親睦及び利用者の意見交換の場として大切に位置づけてきた。その月の誕生者には、今年度は引佐草の根作業所から購入した巾着袋とティッシュカバーをプレゼントし、全員でお祝いをした。

秋の旅行については、話し合いで目的地等の希望が出され、全員での「富士川クラフトパーク」へ日帰り旅行を行った。

(3) 社会活動

利用者が楽しく豊かな日中活動を送ることができるよう、次のような地域社会活動に積極的に参加した。

〈年間行事及び地域社会活動〉

実施日	行事名
平成31年	
4月 1日	新年度業務開始
令和元年	
5月 5日	百里園凧揚げ会による練り慰問
5月 7日	健康診断（胸部 x-p、血液検査 他）
5月 26日	知久農業体験教室共催事業（第1回 綿種まき 他）
6月 10日	家族会総会
7月 21日	浜松ロータリークラブによる奉仕作業（ブルーベリー園の除草・収穫）
8月 2日	四季彩堂（有玉本店）にて『もうひとつの秀逸展 26 th in 四季彩堂』を
～ 4日	開催
8月 25日	わかふじスポーツ大会参加（パラスポーツクラブ）
9月 13日	社会体験旅行 【日帰り：富士山の自然と遊ぶ「富士川クラフトパーク」】
9月 16日	わかふじスポーツ大会参加（卓球クラブ）
10月 20日	百里園町民運動会 ※今年は雨天中止。代替でフラワーパーク散策。
10月 26日	浜松織り染めマーケットにて授産製品販売
～ 27日	
11月 2日	聖灯祭（聖隷クリストファー大学）にて授産製品販売
11月 3日	知久農業体験教室共催事業（第2回 綿つみ、収穫祭 他）
11月 16日	3事業所合同「第2回パラスポーツ大会開催（旧浜松市立北小学校体育館）
11月 24日	障害者週間啓発イベント（浜松市ギャラリーモル ソラモ）にて授産製品販売
11月 30日	浜北特別支援学校けやき祭にて授産製品販売
12月 1日	知久農業体験教室共催事業（第3回 糸つむぎ、機織り体験 他）
12月 9日	パラリンアートカップ作品展（アートクラブ）
12月 11日	愛護ギャラリー展（静岡県コンベンションセンター グラシッポ）にて出展（生活介護）
～ 15日	
令和2年	
1月 10日	『新成人を励ますつどい』実施
2月 21日	新入所者オリエンテーション
2月 26日	障害者アート展示会（浜松市福祉交流センター）にて展示（アートクラブ）
～ 28日	
3月 3日	『感謝のつどい』実施
3月 23日	令和2年度入所式

※毎月第3日曜日に伯明デイサービス「のきした市」にて授産製品を販売

6. 災害防止対策

学園内の事故防止、通園途中の交通事故防止についての指導をその都度実施した。
また火災、地震を想定した防災訓練を3ヶ月に1回実施し、合わせて防災設備の自主点検を行った。

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内容
令和元年 5/24 (木)	地震・避難	利用者 59人 職員 16人 75人	11時00分	・午前中に作業やクラブ活動などを施設内外の複数の場所で行っていることを想定し、利用者の迅速な安全確認と誘導を行った。 ・日中活動ネームプレートを活用し、

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
7/19 (金)	火災避難・ 通報	利用者 50人 職員 15人 65人	14時00分	・ 午後の作業時間中、作業を複数の場所で行っていることを想定し伝達を正確に行い、迅速な避難を行った。 ・ 消防署への通報訓練も正確に伝えられるよう確認をした。
11/29 (木)	地震防災DVD 視聴	利用者 59人 職員 15人 74人	14時00分	地震が起きた時、どうしたら良いかのポイントを学んだ。 ・ 自分の身は自分で守る。 ・ 落ち着いて行動し、自分勝手な行動はとらない。 ・ 津波に対して、とにかく高い所に逃げる。
令和2年 3/5 (木)	地震・避難	利用者 56人 職員 16人 72人	12時50分	昼休みで、利用者が複数の場所に点在していることを想定し、伝達を正確に行い、迅速な安全確認と誘導を行った。

7. 地域公益事業

(1) 生活困窮者就労訓練事業の実態

受け入れはなかったが、引き続き自立相談支援機関(生活自立相談支援センター「つながり」)と連携して受入れ準備をしてきた。

8. 福祉施設実習及び産業現場等における実習

福祉施設実習の受入れは2校、産業現場等における実習の受入れは2校であった。

月	来客者数		見学者数		実習者数		ボランティア数		備考
	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	
4	3	2		3		2	9	11	
5	8		6	1	2		9	12	
6			0	1		6	11	11	
7	4	4	2		1	3	8	11	
8	8	5	8	12			5	5	
9	4	2			4	3	6	12	
10	1			8	2	1	9	12	
11	1	2	3	6	6	3	16	11	
12					2	2	7	11	
1				4		2	9	8	
2	2			1		5	9	12	
3	2			3	1	2	12	12	
計	33	15	19	36	18	29	110	128	

Ⅲ み な み (就労継続支援B型事業所)

1. 施設運営

- ・事業所が日々明るく楽しい生活の場でなくてはならないという観点を重視し個別支援計画に基づいて本人の希望や家族の思いが充分反映されるよう一人一人にきめ細やかな支援を心がけて活動を行なった。
- ・作業を通じて労働集団の豊かな形成につとめると共に働く場との意識向上につとめた。また、療育的な支援や余暇活動の充実等、総合的な支援を行なった。

2. 施設利用状況 (定員25名)

項 目		単位	令和元年度 実績	平成30年度 実績	平成29年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	258	256	254
	契約者数	人	27(R2.2退所3名)	24(H31.3退所1名)	22
	延べ人数	人	5,843	5,210	5,237
	1日平均		22.6	20.4	20.6
	利用率	%	90.6	101.8	103.1

・利用者の状況 (令和2年3月31日現在)

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計			
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				男	女		
年 齢 別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女	24			
	3	4	10	3	1	3	0						18	6
障害支援 区 分 別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定						
	6	2	7	5	2	0	4.2							
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし		
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級			5	0

3. 就労支援事業：全体

(単位：円)

事 業	令和元年度収入	平成30年度収入	差 額
自主作業	967,336	1,031,704	△64,368
下請作業	2,845,071	1,692,787	1,152,284
合 計	3,812,407	2,724,491	1,087,916

①自主作業

(単位：円)

作業種目	令和元年度収入	平成30年度収入	差 額
果樹園芸	315,824	410,996	△95,172
染織縫製	651,512	620,708	30,804
合 計	967,336	1,031,704	△64,368

②受託作業

(単位：円)

作業種目	令和元年度収入	平成30年度収入	差 額
農場整備	2,845,071	1,692,787	1,152,284
清掃作業			
下請作業			
合 計	2,845,071	1,692,787	1,152,284

4. 工賃実績：全体

(単位：円)

	令和元年度	平成30年度	差 額
平均	10,348	8,090	2,258
最高	19,799	14,763	4,885
最低	2,452	2,867	△415

(単位：円)

工 賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	170,780	160,790	209,750	201,820	249,710	249,710	269,770	329,730	449,810	329,720	309,730	286,790	3,218,180	2,168,100
月額最高額	12,500	11,590	15,520	13,920	18,050	19,700	20,610	26,320	30,150	25,290	24,030	19,910	19,799	14,763
月額最低額	2,540	3,170	3,380	2,610	1,420	1,610	1,000	1,000	9,690	1,000	1,000	1,000	2,452	2,867
												平均工賃月額	10,348	8,090

※令和元年12月の総支給額は賞与（一律5,000円、¥130,000）と令和2年3月年末手当（一律3,000円、¥70,000）を含む。

※工賃支給対象者に、年度途中入所者、及び退所者、入院中の利用者も含む。

5. 生活支援

(1) クラブ活動

利用者の希望を取り入れて、絵画・音楽・書道・手工芸・レクリエーション等のクラブ活動を実施した。

(2) 茶話会

毎月1回茶話会を行い、工賃分配及び誕生会、話し合い、レクリエーション等を行った。利用者の親睦及び意見交換の場として大切に位置づけ、その月の誕生者にはプレゼントを渡し、また皆勤者にはその努力をたたえた。

(3) 社会活動

利用者が楽しく豊かな日常生活を送ることができるように、次のような地域社会の活動等に積極的にとりくんだ。

(4) 健康管理

- ・年1回の聖隷健診センターによる健康診断と浜松市の歯の健康センターによる歯科検診を実施した。
- ・月1回の体重血圧測定を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症防止対策として、これまでのうがい手洗い、手指の消毒以外に換気や室内へのウィルス除去スプレーの散布等、万全の体制を整えて支援した。

〈年間行事及び地域社会活動〉

実施日	行事名
平成31年	
4月 1日	新年度業務開始
4月 24日	健康診断（胸部 x-p、血液検査）
令和元年	
5月 28日	遠江学園理事会
5月 26日	知久農業体験教室共催事業（第1回 綿花の種まき 他）
6月 4日	家族会総会
6月 18日	みなみ家族会（保護者会）旧みなみ清掃
6月 24日	みらーと西部拠点 6月展示会 in 静岡県浜松総合庁舎（2作品展示）
8月 2日	四季彩堂（有玉本店）にて『もうひとつの秀逸展 26 th in 四季彩堂』を
～ 4日	開催
8月 6日	みらーと西部拠点絵画支援人材育成研修会 in みなみ 18名参加
8月 21日	浜松こども園 氷祭り参加
8月 24日	宇布見の里夏祭り（雄踏町 老人ホーム）
9月 7日	きらりナイトにて製品販売
9月 13日	社会体験旅行 【日帰り：ベイクルーズ・日本平ホテル】
10月 1日	赤い羽根共同街頭募金活動参加
10月 16日	ソーシャルグッズコンテスト（なな織りバック：静岡県社会福祉協議会会長賞）
10月 26日	染め織りマーケット参加（～27日）
11月 2日	見付宿たのしい文化展にて製品販売（～3日）
11月 3日	知久農業体験教室共催事業（第2回 綿つみ、収穫祭 他）
11月 10日	ピクニックデイ（佐鳴湖公園）参加
11月 14日	静岡県知的障害者福祉協会生産活動・就労支援部会研修会参加（～15日）
11月 16日	3事業所合同「第2回パラスポーツ大会」開催（@浜松市立北小学校体育館）
11月 22日	陽だまりの里 足立柿園に遠足
11月 24日	スマイルフェスタに参加
11月 25日	浜松市実地指導
12月 6日	歯科健診
12月 7日	ふじのくに ソーシャルグッズコンテスト表彰式
12月 12日	愛護ギャラリー展（静岡県コンベンションセンター グラジッポ）にて出展
～ 16日	絵画部門にて2作品奨励賞を受賞
12月 15日	知久農業体験教室共催事業（第3回 糸つむぎ、機織り体験 他）
令和2年	
1月 10日	新成人を励ますつどい実施
2月 21日	新入所者オリエンテーション
2月 27日	障害者アート展（書道3点出展）
3月 23日	令和2年度入所式（みなみにて）

6. 災害防止対策

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内容
平成31年 4/15 (月)	不審者 防犯訓練	利用者 20名 職員 4名 24名	10時00分	みなみの南側門扉から不審者が侵入するという想定で行った。職員は防護できるものを用意し利用者を安全な場所まで誘導し避難した。
令和元年 5/2 (木)	地震・ 津波避難訓練	利用者 25名 職員 6名 31名	10時00分	朝礼中に遠州灘沖で震度7の地震が発生したと想定する。職員による安否確認後、ヘルメット着用し駐車場まで誘導し避難した。
6/12 (水)	水害 避難訓練	利用者 24名 職員 5名 29名	13時00分	大雨による大雨警報発令・道路浸水による帰宅困難を想定する。備蓄用品（食料・水・寝袋など）確認する。また、浸水マップを確認した。

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
8/ 22 (木)	地震・情報伝達訓練	職員 1名	8時30分	突発的な地震の発生を想定。施設の被害状況について、浜松市社会福祉課に被害状況報告書をFAXにて送付する。
9/ 4 (水)	地震・津波 火災 避難訓練	利用者 19名 職員 6名 25名	10時10分	朝礼中に遠州灘沖で震度7の地震が発生したと想定する。食堂の机に身を隠すし職員による安否確認後、ヘルメット着用し駐車場まで誘導し避難した。
11/ 2 (水)	地震・津波 火災 避難訓練	利用者 19名 職員 5名 24名	10時50分	午前の作業中に遠州灘沖で震度7の地震を想定。地震が治まったところでヘルメットを着用して避難した。湯沸室から火災が発生(想定)。安全に避難したあと、職員と利用者で共にバケツを使い消火活動する。
令和2年 3/ 7 (土)	不審者 防犯訓練	利用者 18名 職員 3名 21名	10時00分	みなみの南側門扉に不審者がいる事を確認し侵入するという想定で行った。支援者が椅子を使い不審者を確保する練習をした。

7. 地域公益事業

(1) 生活困窮者就労訓練事業の実態

自立支援機関（生活自立相談支援センター「つながり」）の斡旋に応じて、就労に困難を抱える生活困窮者の受け入れを継続している。

8. 福祉施設実習及び産業現場等における実習

職場体験実習の受け入れは3校であった。

月	来客者数		見学者数		実習者数		ボランティア数		備考
	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	
4	2			9			10	4	
5	11	4	5	11		1	10	1	
6	5	4	1	2	1	2	15	2	
7	4	2	3			1	3	1	
8	19		20	4		1	13	3	
9	10	2		3		1	3	5	
10	4	1	92		3	2	3	6	
11	2	4	30		1		3	3	
12	4		4		5	1	3	3	
1		4					3	5	
2	1	4	1				3	3	
3	4	2	4	※150			12	7	※内覧会・落成式含む
計	68	27	160	179	10	9	81	43	

IV まつかさ（就労継続支援B型事業所）

1. 施設運営

まつかさは、就労継続支援B型事業所として、「働く」という視点を重視し、就労の機会を提供することを心がけてきた。「施設外就労」が定着し、多くの利用者さんが、施設外での作業を経験することになり、働く力の向上につながった。

本人の希望や家族の思いが十分反映されるよう、面談を随時実施し、きめ細かな支援を心がけてきた。また通勤途中の交通安全と災害時の安全についても配慮し、その確保を行った。

2. 施設利用状況（定員20名）

項 目		単位	令和元年度 実績	平成30年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	258	256
	契約者数	人	21	22
	延べ人数	人	4699	5028
	1日平均	人	18.2	19.6
	利用率	%	91.1	98.2

・利用者の状況（令和2年3月31日現在）

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				21	
	12	3	1	3	2	0	0	0	0	0		
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女		
	0	10	6	2	2	0	1		15	6		
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	0	0	3	8	5	0	2.9	5				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	0	0	0	0	0	12	8	0	1	0	1	1

3. 就労支援事業：全体

（単位：円）

事 業	令和元年度収入	平成30年度収入	差 額
自主作業	320,652	285,137	35,515
受託作業	3,491,265	2,808,580	682,685
合 計	3,811,917	3,093,717	718,200

①自主作業

（単位：円）

作業種目	令和元年度収入	平成30年度収入	差 額
果樹園芸	0	0	0
織染縫製	320,652	285,137	35,515
合 計	320,652	285,137	35,515

②受託作業

(単位：円)

作業種目	令和元年度収入	平成30年度収入	差 額
農 場 整 備	3,491,265	2,808,580	682,685
清 掃 作 業			
下 請 作 業			
合 計	3,491,265	2,808,580	682,685

4. 工賃実績：全体

(単位：円)

	令和元年度	平成30年度	差 額
平均	13,564	10,510	3,054
最高	19,748	17,093	2,655
最低	2,833	2,733	100

(単位：円)

工 賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	219,910	219,920	219,880	219,890	249,920	249,890	249,890	279,940	384,920	279,930	279,900	527,230	3,381,220	2,795,790
月額最高額	15,400	16,060	16,080	15,870	18,780	18,610	17,450	19,750	24,740	20,040	19,730	34,460	19,748	17,093
月額最低額	1,000	1,840	2,320	1,260	2,870	2,230	2,470	2,150	6,170	1,230	2,150	8,300	2,833	2,733
	平均工賃月額												13,564	10,510

※本年度より令和元年12月は賞与（一律5,000円、¥105,000）、令和2年3月は年度末手当（一律5,000円、¥105,000）を含む。

※工賃支給対象者に、年度途中入所者、及び退所者、入院中の利用者も含む。

5. 生活支援

(1) 茶話会

毎月1回、月末に工賃分配と誕生者にはプレゼントを渡しお祝いをした。

(2) 社会活動

利用者が楽しく豊かに毎日を送ることができるように、次のような地域社会の活動等に積極的に取り組んだ。また、土曜日を利用して社会資源の見学やレクリエーション、ボランティアなどを行い、利用者間の親睦交流を図った。

〈年間行事及び地域社会活動〉

実施日	行事名
平成 31 年	
4 月 1 日	新年度業務開始
4 月 24 日	健康診断（胸部レントゲン、血液検査、尿検査）
令和元年	
5 月 21 日	歯科健診
5 月 26 日	知久農業体験共催事業（第 1 回 綿花・サツマイモの植え付け 他）
6 月 10 日	家族会総会
8 月 2 日 ～ 4 日	四季彩堂（有玉本店）にて『もうひとつの秀逸展 26 th in 四季彩堂』を開催
9 月 13 日	社会体験旅行 [日帰り：明治村博物館]
10 月 20 日	労福協まつりにて授産製品販売
11 月 2 日	聖灯祭（聖隷クリストファー大学）にて製品販売
11 月 3 日	知久農業体験共催事業（第 2 回 綿つみ、サツマイモ収穫 他）
11 月 16 日	3 事業所合同「第 2 回パラスポーツ大会」開催（旧浜松市立北小学校体育館）
12 月 15 日	知久農業体験共催事業（第 3 回 綿くり、糸つむぎ体験 他）
令和 2 年	
1 月 10 日	『新成人を励ますつどい』
2 月 22 日	新入所者オリエンテーション（まつかさは該当者無し）
3 月 23 日	令和元年度入所式（まつかさは該当者無し）
3 月	保護者懇談会は新型コロナウイルス感染症のために中止

6. 災害防止対策、交通安全・防犯講習

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
令和元年 8/16 (金)	防犯訓練	利用者 15 名 職員 5 名 20 名	9 時 30 分	浜松市中央警察署生活安全課の協力を得て、防犯に関する初めての講習会を行った。突然の不審者の侵入を想定した訓練を行い、実際の防御や職員間の連携を学んだ。
8/16 (金)	交通安全講習	利用者 15 名 職員 5 名 20 名	10 時 30 分	浜松市中央警察署交通安全指導課の協力を得て、交通安全に関する初めての講習会を行った。指導員の講話や実際の簡易信号機、横断歩道を使っの、安全な渡り方を学んだ。
8/22 (木)	地震被災状況報告訓練	利用者 20 名 職員 5 名 25 名	9 時 15 分	突発的な地震の発生を想定して、施設の被害状況について浜松市中区障害保健福祉課に被害状況報告書を FAX にて送付した。
10/19 (土)	避難訓練 火災・避難	利用者 15 名 職員 3 名 18 名	9 時 20 分	9:20 に和室の警報機のボタンを押し訓練を開始。「(警報器) 火事です火事です」の音声が出た後、「職員室のパソコンから火が出ています」と周りに伝え避難を開始した。第 1 次避難場所になっている事業所東の駐車スペースに避難した。

令和元年 11/12 (火)	防災訓練 地震・火災 ・避難	利用者 16名 職員 5名 21名	9時08分	9:08に緊急地震速報を事業所内で流し、地震の発生を知らせた。20秒後「地震発生。身をかがめて安全の確保をしてください」と声掛けで訓練を開始した。1分間机の下等に頭を隠し安全を確保した。その後第1次避難場所になっている事業所東の駐車スペースへの避難をした。職員室机下のコンセントからの出火を認め、消火係による消火活動を行った。
令和2年 3/7 (土)	防災訓練 地震・火災 ・避難	利用者 9名 職員 2名 11名	9時35分	9:35に緊急地震速報を流し地震の可能性を知らせ、30秒後に「地震が発生しました。ヘルメットを持って机の下にもぐってください」と声掛けし訓練を開始した。その後利用者昇降口付近のエアコンから出火を認め、北口から避難をした。最後に、施設長から南海トラフ地震の場合の揺れや津波等について話を聞いてまとめた。

7. 福祉施設実習及び産業現場等における実習

実習の受入れは2校であった。

月	来客者数		見学者数		実習者数		ボランティア数		備考
	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	
4	13	11	9	0	0	0	0	0	
5	22	8	6	4	0	0	0	0	
6	14	17	7	3	1	8	0	0	
7	20	11	12	2	8	2	0	0	
8	23	15	9	4	4	3	0	0	
9	31	6	10	2	0	0	0	0	
10	23	10	3	4	0	5	1	0	
11	23	8	0	2	6	0	9	0	
12	21	8	6	0	0	0	0	0	
1	25	10	1	3	0	2	0	0	
2	20	9	2	1	0	0	0	0	
3	24	4	3	2	0	0	0	0	
計	259	117	68	27	19	20	10	0	

V やしま (共同生活援助：グループホーム)

1. 施設運営

- ・個別支援計画に基づいて利用者一人一人の希望や思いに寄り添い、心身共に安定した日々の生活の充実を図った。
- ・地域の一員として奉仕活動・防災訓練等、各種活動に参加し社会的マナーやルールを身につけ、自立した生活に向けて総合的な支援を行なった。

2. 施設利用状況 (定員4名)

項 目		単位	令和元年度 実績	平成30年度 実績	平成29年度 実績	平成28年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	365	365	365	365
	契約者数	人	4	4	4	4
	延べ人数	人	1,117	1,384	1,435	1,424
	1日平均		3.2	3.8	3.9	3.9
	利用率	%	80.6	94.8	98.3	97.5

・利用者の状況 (令和2年3月31日現在)

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				性別	男
	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0		
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女	3	0
		1		1	1	0	0					
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	0	0	1	2	0	0	3.3		0			
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0		

3. 支援内容

(1) 日常生活動作支援

食事、排泄、入浴、洗濯、清掃、身だしなみを整える等、手際の良い身辺処理ができるよう支援した。

(2) 余暇活動の支援

休日には生花・レストランの日・買い物・温泉の日・外出支援等、ご本人の希望に添って余暇時間の充実を図った。また、地域で開催される各種活動(市・地区社協イベント・農業体験教室等)にも参加した。

《やしま余暇支援活動》

活動名	実施回数	活動内容
レストランの日	5回	市内のレストランにて外食
生け花	2回	自室に季節の花を飾る
料理	3回	ホットケーキ・焼肉・やきそば・鍋料理をつくって食べて楽しむ
温泉の日	3回	市内の入浴施設を利用する
清掃奉仕	4回	地域除草作業に参加する
交流活動、買い物支援、小旅行（いちご狩り）	月1～2回	卸本町夏祭り、防潮林除草奉仕活動、農業体験教室等、地域交流活動に参加する。随時買い物や小旅行を楽しむ。

(3) 健康管理

内科・外科・歯科への通院の支援を行った。また、定期的に歯みがき支援や服薬管理を行った。

帰宅後のお茶のうがいや手洗いの徹底、インフルエンザの予防や新型コロナウイルス感染症防止対策を行なった。

(4) 菜園管理

野菜の栽培や収穫を体験し、料理に活用する等して菜園での活動を楽しんだ。

4. 災害防止対策

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内容
昭和31年 4/25 (木)	防犯訓練	利用者 4名 職員 2名 5名	17時30分	居室でそれぞれがくつろいでいたところ不審者が寮のまわりや近隣をうろついていたことを想定。食堂に集合し待機する。食卓、椅子でバリケードをつくる。確実な戸じまりができたことを確認した後、「やしま」の公衆電話から警察に模擬通報する。
令和元年 8/22 (水)	被害状況報告訓練	職員 1名	8時30分	平日の午前8:30に巨大地震が発生し、その後24時間後の被害状況を想定。『被災状況報告書』を浜松市社会福祉課へFAXにて報告する。
9/1 (日)	地域防災訓練	利用者 2名 職員 1名 3名 地域住民、消防関係者	8時30分	地震による大津波と火災発生を想定。「やしま」から、本町公園避難タワーへ徒歩で移動する。消火ポンプを持って水かけ（消火）訓練を体験する。

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
令和元年 10/12 (土)	水災害 避難訓練	利用者 1名 職員 1名 2名	10月11日 ～13日	台風19号上陸の見込み。甚大な被害のおそれあり、法人本部と検討の上、バックアップ施設「みなみ」へ避難となる。備蓄してある防災食を主に使用。断水・停電を想定してジャグジーややかんに貯めておく。懐中電灯を手元におく。テレビやラジオにて情報を収集する。
11/1 (日)	避難・防災 訓練	利用者 3名 職員 4名 3名 地域住民・消防 関係者 60名	17時00分	遠州灘沖で震度7の地震発生。地震発生30分後に台所から火災発生を想定。防災リュック・ヘルメット・ライフジャケットを着用する。津波を想定し、避難タワーまで懐中電灯を点灯させて移動。骨折を想定して三角布を利用したの応急処置をする。模擬で、消防署への通報、消火器等による初期消火を実施する。
12/12 (日)	津波避難	利用者 2名 職員 2名 4名	9時00分	地震・津波を想定。サイレンの合図で急いでライフジャケットを身につけて避難タワーへ向かい、のぼる。終了後、卸本町公園に於いて、婦人部の方々がたきだしをされる様子を見学し、ご飯・カレーを頂いた。
令和2年 3/8 (日)	防災訓練	利用者 3名 職員 1名 4名	9時00分	新型コロナウイルス感染症防止対策により、自治会活動が中止となった。ライフジャケット装着訓練に変更した。手際よく実施することができた。

火災・地震津波対策に加えて大雨による水害、防犯対策等、防災規程年4回の規定に追加して、随時避難場所や避難経路の確認やライフジャケット着用訓練・防災環境の確認を行った。特に地域での防災訓練には欠かさず参加し、地域住民や消防署員、及び警察関係者にグループホームの存在について確認してもらうことが出来た。

5. その他

- ①個別支援計画について、本人との面談を随時行う。また、隔月に支援会議を行う。
- ②虐待防止についてチェックリストを活用した。
- ③新型コロナウイルス感染症防止対策として、これまでのうがい手洗い、手指の消毒以外に換気や室内へのウイルス除去スプレーの散布等、万全の体制を整えて支援した。

VI あかね（共同生活援助：グループホーム、短期入所：ショートステイ）

1. 施設運営

・共同生活援助事業

知的な障害者に対して「住まいの場」を提供し、自立に向けた必要な技能や地域の中で生活していく為のルール等、総合的支援を行った。

また、利用者さんの思いによりそい、より個別化した支援が行えるよう努力した。相談支援事業所とも密接な連携を取りながら、利用者の意思決定を大切に生活の充実を図った。

・短期入所事業

家庭のレスパイト支援を優先し、自宅での生活が一時困難になった利用者が快適に過ごせるよう、食事の提供、入浴支援等を行った。また共同生活援助事業の利用者と気持ちよく過ごせるようコミュニケーションの疎通を図り、滞在する利用者一人ひとりの要望に沿った支援を行った。

2. 施設利用状況

(1) 共同生活援助（定員7名）

項 目		単位	令和元年度 実績	平成30年度 実績	平成29年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	365	365	365
	契約者数	人	7	7 (H31. 3~)	6
	延べ人数	人	2,445	2,100	2,251
	1日平均		6.7	5.75	6.2
	利用率	%	95.4	82.1	88.1

・利用者の状況（平成31年3月31日現在）

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	1	1	1	0	3	0	1	0	0	0	7	
年齢別	18歳 ~19歳	20歳 ~29歳	30歳 ~39歳	40歳 ~49歳	50歳 ~59歳	60歳 ~64歳	65歳 以上	性別	男	女		
	0	1	2	1	1	2	0		0	7		
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	0	0	0	0	0	5	2	0	0	1	1	0

(2) 短期入所（定員1名）

項 目		単位	令和元年度 実績	平成30年度 実績	平成29年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	365	365	365
	延べ利用者数	人	490	509	507
	稼働日数	人	269	287	283
	利用率	%	73.4	78.6	77.5

・利用者の状況 (平成31年3月31日現在)

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				性別	男
	4	6	8	11	3	0	0	0	0	1		
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上					
	0	14	10	6	0	3	0		23	10		
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	3	5	11	10	4	0	3.7	0				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級	2	
	2	1	0	0	0	28	5					

3. 支援内容

(1) 日常生活動作支援

食事、排泄、入浴、洗濯、清掃、身だしなみを整える等、手際のよい身辺処理ができるよう支援した。また、夜間の不眠者に対し、医療面の対応と同時に本人の気持ちに寄り添う支援を行った。

(2) 余暇活動の支援

休日には、市内の公園・美術館等の散策、買い物支援等を行い、余暇時間の充実を図った。またレストランの日を設け、外出の際のマナーやルールについて支援した。地域で開催される各種活動にも積極的に参加し、月に一度行われる販売会では、販売を担当した。

〈あかね支援活動〉

活 動 名	実施回数	活 動 内 容
レストランの日	2回	市内のレストランにて外食
市内散策	9回	浜名湖ガーデンパーク、秋野不矩美術館、浜松城公園、浜松市動物園、竜ヶ岩洞、エアパーク、図書館、フルーツパークイルミネーション、都田運動公園
年中行事	11回	入所利用者の誕生祝い、クリスマス会 他
地域の行事参加	2回	百園自治会夏祭り、社会福祉法人和光会夏祭り等
販売会见学	2回	四季彩堂販売会见学、ハママツフェスタ
販売会担当	月1～2回	毎月第3日曜日、伯明デイサービス「のきした市」にて授産製品を販売 他
移動支援	45回	移動支援サービスを利用し、外出する(1名)
買い物支援	月1～2回	随時買い物に同行する
料理	8回	焼きそば、お好み焼やサラダ、バーベキュー、流しそうめん、デザート作り等、食べて楽しむ
散歩・園芸	毎週末	近隣の散歩、プランターへの灌水、生け花

共同生活をする仲間として、お互いを思いやる気持ちを大事にし、仲間意識を持てるようお互いが役割を持って参加し楽しめるよう支援を行った。

(3) 健康管理

内科・歯科・皮膚科・神経科への通院の支援を行った。また定期的に歯みがき支援や治療のための支援を行った。

帰宅後のお茶のうがいや手洗いの徹底をはかり、インフルエンザ等の予防を行った。

4. 災害防災対策

避難訓練を行った。

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
令和元年 7/26 (金)	消火・避難	利用者 6名 職員 3名 その他 1名 10名	19時00分	夕食時、205号室より出火を想定。上靴のまま食事を中断し、玄関より駐車場に速やかに避難を完了。全員の無事を確認した。その後バケツリレーによる消火訓練を行った。
9/1 (日)	地震	利用者 5名 職員 2名 7名	10時24分	地震発生の場合合図を行い、テーブル下やトイレに避難を呼びかける。揺れがおさまってから駐車場に一時避難し、その後、避難場所「ひくまの」に歩いて避難。
11/1 (金)	施設防災訓練 地震・火災	利用者 7名 職員 3名 10名	17時42分	地震発生と火災を想定。テーブルの下へ隠れ、おさまってからヘルメットを着用し駐車場へ避難。全員の無事を確認。台所より出火を想定。バケツリレーでの消火訓練を行った。出勤されていない職員の情報伝達訓練を行った。
12/1 (日)	地域防災訓練 地震	利用者 6名 職員 2名 シヨート 1名 9名	10時24分	地震発生を想定。テーブルの下等へ隠れ、揺れがおさまってからヘルメットを着用し、百里会館へ避難。その後地域防災訓練に参加。救護訓練を見学し、三角巾の包帯づくり体験をした。後で職員間の情報伝達訓練を行った。
令和2年 3/5 (木)	火災・通報	利用者 5名 職員 3名 8名	17時00分	1階廊下より出火を想定し、消防署への通報訓練。
3/6 (金)	火災・避難	利用者 7名 職員 3名 シヨート 1名 11名	17時00分	1階廊下より出火を想定。夕方みなみの利用者の帰寮直後、火災の場合合図でハンカチを口に覆い、室内にいた方も上靴のまま駐車場に避難を完了した。台所にいた支援員は火を止めて避難。